

文化団体事業

第30回埼玉県書道芸術展

埼玉県書道芸術連盟 埼玉会館 第1・第2・第3展示室
令和7年7月31日(木)～8月3日(日) 9:00～17:00

当日の状況

7月31日から8月3日までの4日間にわたって開催し、役員・準役員作品のほか、児童生徒部は準特選以上、一般部は秀作以上の作品が陳列された。公開期間中、観覧者は3000人に達した。最終日には昨年に引き続き席上揮毫のイベントを実施し、盛況となった。表彰式も予定通り実施した。

成果

30回記念展ということもあり、大変多くの観覧者が来場し、熱心に丁寧に作品を見ていた。児童生徒部については例年通りハイレベルな作品が多く、称賛の声が多かった。

昨年に続き2回目の席上揮毫は大変注目度が高く、観覧者が多かった。表彰式で表彰を受ける受賞者の嬉しそうな顔が印象的だった。

主催

埼玉県書道芸術連盟 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第56回交通安全祈願蘭生書道展

蘭生書道会 埼玉会館
令和7年8月30日(土)～31日(日) 9:30～17:00(最終日は15:00まで)

当日の状況

第二展示室には教育部一般部会員による交通標語の作品1207点を展示し、第一展示室に鑑賞部48点・アート書部52点の作品を展示した。今回は書初め作品の展示も試み、評価も高かった。

小ホールにて行った受賞式には来賓の方々、受賞者とその保護者の皆様で埋め尽くされた。展示会場には2日で1480名の観覧者が訪れた。

成果

交通標語を課題とし、作品を書く側・見る側に交通事故撲滅の意識が高まった。また警察学校生の授賞式参加に於いては、場が引き締まったと感想があった。さらに多種多様な作品と幅広い年齢層の作品に感動したとアンケートで記された。

主催

蘭生書道会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第63回公募新構造埼玉展

一般社団法人新構造社埼玉支部 埼玉県立近代美術館
令和7年9月2日(火)～7日(日) 10:00～17:30

当日の状況

埼玉県立近代美術館を会場に6日間の日程で公募展を開催した。一般出品者を募集するため、当会ホームページで発信するなど応募者を募ったところ、写真部の応募者が増えた。

会場では、出品者・当会関係者や隣展示室からの相乗効果もあり、入場者が1,300人を超えた。

成果

本美術展は、開催目的に「創造的表現の開発をはかり…」とある。

本年も鑑賞者の声に「個性的で自由なテーマに即した作品が多い」とあるなどの一定の評価は得られたが、高齢化などによる会員の自然減少に歯止めがかからないため、引き続き一人でも多くの応募者を募るため、応募方法などの工夫・改善を図りたい。

主催

一般社団法人新構造社埼玉支部 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第78回秩父写友会展

秩父写友会 ちちぶ地場産センター2階
令和7年9月11日(木)～15日(月) 9:30～17:00

当日の状況

ここ3年は会員が独自の発想と長年培った写真への思いと技術を駆使して作品をひとつのテーマにまとめて発表した。作品の大きさはA3ノビから全倍までとし、展示数も1人1点から6点にまとめてテーマに関連した展示を行った。

成果

多くの参観者を獲得した。参観者は秩父郡市内から写真のグループ、一般の方々などが90%。郡外・県内の写真グループの方々が10%。個性のある作品に高い評価をいただいた。

主催

秩父市事業 秩父文化団体連合会 埼玉県
埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第68回埼玉書道展

埼玉県書道人連盟 埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2・3・4
令和7年9月12日(金)～14日(日) 10:00～17:30(最終日は16:00まで)

当日の状況

漢字、仮名、調和体、少字数、篆刻と高等学校臨書の部で合計682点(前回比56点減)を展示した。12日には、特選受賞作品対象の「ギャラリートーク」を開催したところ、83名の参加があり、熱心な質疑応答も見られた。雨模様の3日間であったが、入場者数は1,162名(前回比39名減)であった。ポスターを増やした効果が出たのか入場者は微減にとどまった。

成果

アンケート結果では、「いろいろな会派のたくさんの作品を見られて勉強になった」、「書の魅力に改めて気づいた」など高い評価をいただいた。全国的に見ても書道が盛んな埼玉県では、入場者の眼も肥えていると感じた。また、「休憩できるイスがほしい」との要望があったので、会場内に椅子を数脚配置した。

主催

埼玉県書道人連盟 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



八潮オリジナル市民ミュージカル 第17回本公演

八潮オリジナル市民ミュージカル実行委員会 八潮市メセナホール
令和7年9月15日(月・祝) ①11:00～12:15 ②15:00～16:15

当日の状況

講師が変わっての初の公演であったが、①②合わせて多くの来場があり盛況となった。アンケート回収数も300枚近くとなった。

「とても感動した」「全員に見せ場があり楽しかった」「涙が出るほど素敵な作品でした」等

数多くの感想が寄せられた。

成果

今回が初舞台となったメンバーが多いアマチュア団体ではあるが、「全員が楽しかった」「この先も公演をして、沢山の人のみてもらいたい」と達成感と次への希望に満ちあふれていた。

アンケート結果からも幅広い年齢層から、満足という回答が9割を占め、地域の文化振興に寄与出来ているものと考えている。

主催

八潮オリジナル市民ミュージカル実行委員会 埼玉県
埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第32回埼玉県百人一首大会

埼玉県かるた協会 戸田市スポーツセンター
令和7年9月21日(日) 9:00~18:00

当日の状況

埼玉県内に在住、在学又は在勤をしている方及び県内で競技かるたの活動をしている方で、初心者（初段の取得を目指す方）を対象として開催した。

競技かるたを題材としたドラマが放映されていた直後ということもあり、参加可能人数を超える申し込みがあり、事前に抽選を行って参加者数を制限するほどの盛況であった。

成果

本大会が初めての大会参加となる初心者の参加が予想されることから、大会参加を通して、競技技術の向上やルールやマナーの習得ができるよう、ルール、マナー、大会参加時の注意事項等の説明を適宜、行いながら運営を行った。

参加者にとって、今後のステップアップにつながる大会となった。

主催

埼玉県かるた協会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第13回彩の国埼玉ジュニア桴の祭典

埼玉県太鼓連盟 深谷市花園文化会館アドニス
令和7年9月21日(日) 13:00~15:00

当日の状況

当日は埼玉県内で活動する和太鼓団体のジュニアチームとゲストの郷芸銀美露（皆野町）を含めた9チームによる演奏会となった。参加チームが前回より増え、多くの来場者で会場は賑わった。また、来場者の応援が出演者の力となり、ジュニアらしい明るく元気な演奏ができた。

成果

来場者の大多数は、出場者の家族や知人だと思われるが、一般客の来場も見受けられ和太鼓の魅力を伝えることができた。また、参加者相互の交流を深めると共に、地域の伝統文化の継承・振興と青少年の健全育成及び日本太鼓の普及を図ることができた。

主催

埼玉県太鼓連盟 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



熊谷短歌会第35回熊谷市民短歌大会と作品（色紙・短冊）展

熊谷短歌会 熊谷市立市民ホール・熊谷市中央公民館展示ホール 作品展 令和7年9月23日(火)～28日(日) 短歌大会 令和7年9月28日(日) 13:30～17:00

当日の状況

当日は天候に恵まれ多くの来場者があった。来場した出詠者全員の作品を対象にした講評会は、選者による丁寧な歌評が好評で、活発な意見交換などもあり熱気のある大会となった。

色紙及び短冊による会員の作品展は、出展数が年々減少のみであるが、来場者は例年通りで多くの方々に観て頂いた。

成果

短歌大会は応募者95名、作品総数190首、表彰者数23名。応募者全員と国立国会図書館、関係機関に「第35回熊谷市民短歌大会作品集」を述べ250冊寄贈配布した。

作品展は出展者18名、出展作品数32点。

来場者は80名であった。

主催

熊谷短歌会 熊谷市文化連合 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第53回文化書道埼玉県連合会展

文化書道埼玉県連合会 埼玉会館 令和7年9月26日(金) 13:00～17:00
27日(土) 9:00～17:00 28日(日) 9:00～15:00

当日の状況

展覧会のはがきの配布を例年通り行ったが、酷暑ということもあり昨年より観覧者数は減少した。それでも本部の先生方、近郊の連合会の方、学童及び家族の方が来館し賑わっていた。学童作品や、ロビー展示作品の前では熱心に観入る姿がみられ、話をしたり写真を撮ったりと楽しい時間を過ごしていた。

成果

昨年に引続き見やすい展示を心がけたので、写真撮影等スムーズに行われていた。学童・公募（一般）の表彰式では静粛な時間が流れ受賞者の式に臨む姿勢に感動した。席上揮毫では審査委員長から直接指導を受けるなどして真剣に取り組んでいた。あらためて、これからの子供達の成長に大いに参与すると確信し、更に埼玉県の芸術文化活動に貢献出来るよう努力したいと思った。

主催

文化書道埼玉県連合会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第25回ちちぶ民謡・民舞の祭典

秩父民謡団体連合会 秩父市社会福祉女性会館ホール
令和7年9月27日(土) 10:00~16:30

当日の状況

前日の夕方から会場の設営等を行った。

生の民謡、全国の民謡について、唄、三味線、舞踊など、
銭太鼓の踊り（安来節）や太鼓踊り（秋田甚句）も披露された。
秩父音頭の「秋蚕しもうて麦まき終えて秩父夜祭り待つばかり」の言葉を添えて大会は終了した。

成果

今回は一人での唄、一人での伴奏を出来るように練習に励んできた結果、難しい民謡にも挑戦し、成長を感じた。新しいことを覚え舞台上で演じることを体験し、文化を伝えていくことの大切さを知ることにより文化祭の意義を感じた。これからも伝統芸能文化に寄与するよう邁進したい。

主催

秩父民謡団体連合会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第23回先駆ける美術展

先駆ける美術の会 春日部市中央公民館 ギャラリー
令和7年9月30日(火)~10月5日(日) 10:00~17:00

当日の状況

6日間の観覧者は、878名である。

成果

作品数は、絵画30点、彫刻3点 計33点である。

主催

先駆ける美術の会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第57回第一美術協会埼玉支部展

第一美術協会埼玉支部 埼玉県立近代美術館

令和7年9月30日(火)～10月5日(日) 10:00～17:00

当日の状況

美術鑑賞に絶好の季節となり、毎年この美術展を楽しみの来場者も多くあった。各室において楽しい会話が溢れていた。今回、スペースを広げ、明るく見やすくなったと好評であった。作品は、油彩、水彩、彫刻、モザイク、など多彩であった。

成果

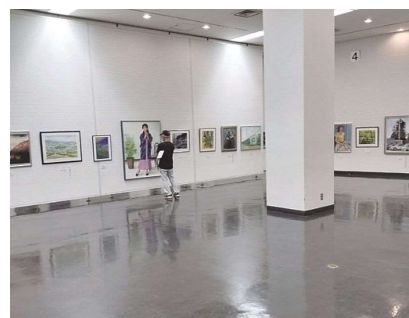
出品者数82人、出品点数119点、入場者数838人であった。多くの来場者に感銘を与えた作品もありアンケートの中に、まるで写真のような作品を、近くで見て筆のタッチに驚き、水の透明感に感動した。

さいたま桜高等学園の生徒作品は、色彩が個性豊かに表現されており、感動した。の声があった。

多くの方々の美術展への関心の深さが伝わって来た。

主催

第一美術協会埼玉支部 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



埼玉県こども動物自然公園アートフェスタ2025

アートフェスタ実行委員会 埼玉県こども動物自然公園

令和7年10月1日(木)～12月28日(日)

当日の状況

10月は雨の天候が多かったが、11月、12月と多くの来園者に作品を見てもらうことが出来た。会期前にも来園者と展示作品を作る活動を行い、中学生、障害のある方、公園を訪れた方の三者で園内の東園を活性化することが出来た。会期中には「自分も作品を作りたい」という子どもたちや鑑賞者の声も多く聞かれた。

成果

今年も例年同様県内の複数の中学校、県外の福祉施設の参加があり、総勢600名を超える作品で会場がにぎわった。本年は動物園のクオッカ来日5周年にちなみ、オーストラリアのアボリジナルアートをテーマにしたため、統一感のあるカラフルな点描作品で公園内を彩ることが出来た。

主催

アートフェスタ実行委員会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第35回さきたま連句大会

埼玉県連句協会 川口キュポ・ラ内、川口市立映像・情報メディアセンター(メディアセブン) プレゼンテーションスタジオ 令和7年10月4日(土) 12:00~17:30

当日の状況

参加者27名が、恒例の“埼玉といえば”にちなむ座名の6座に分かれて、各座の捌き(指導者)により連句実作が始まった。一座4乃至5名の連衆(参加者)は正に一期一会の仲間であるが、前句に続けて関連の句を即座に付け合う緊張と、付けた後の緩和を楽しむうちに、今回から延長した時間内に全ての座がめでたく歌仙を巻き上げ、再会を約して大会は満尾した。

成果

連句の醍醐味は、知人・初対面の別なく一座を共にした者同士が、捌き手の導きの下、付句の連鎖により紡がれる歌仙の即興世界を楽しむことを旨とする。本大会が募吟作品の選奨重視を改め、俳諧の本道である座の建立を大事に実作重視に舵を切って早3年が立ち、歌仙に叶う新たなさきたま連句大会の定着が確認された大会であった。

主催

埼玉県連句協会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第19回こどもライブフェスタ2025

特定非営利活動法人子ども劇場おやこ劇場埼玉センター 県内41ヶ所
令和7年10月5日(日)~令和8年1月31日(土)

当日の状況

県民の日を中心に県内各所で、こどもライブフェスタを開催。どの会場にも子どもたちの真剣な表情や歓声があふれた。地域の方々のスタッフ協力や協賛も増え、あそび文化体験の場が子どもだけではなく地域に必要な場として認識されるようになった。

成果

2025年度も県内の学校や公民館等の子どもたちの身近な場所で、あそび文化体験の場を創ることができた。県内41ヶ所それぞれの会場で実施したプロのアーティストのパフォーマンスとの出会いの場や、あそびのワークショップで友だちととことんあそんだ体験は、子どもたちにとってかけがえのないものとなった。

主催

特定非営利活動法人子ども劇場おやこ劇場埼玉センター
埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第34回全国平成水墨画展

全国平成水墨画協会 埼玉会館 第一展示室
令和7年10月10日(金)～10月13日(月)

当日の状況

出品者数、入場者数の現象はとどまらず、それに指導者の高齢化もあり今後の展覧会の運営が大変である。

成果

例年人気のパフォーマンスは、今年を行わず、その分もふくめ入場者は減少し淋しい展覧会となった。

来年は毎日パフォーマンスをやろうと思う。

主催

全国平成水墨画協会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第41回邦楽（箏、三絃、尺八）のつどい

川越市三曲会 川越南文化会館 (ジョイフル)
令和7年10月12日(日) 12:00～15:30

当日の状況

今回初めて星野高校箏曲部の生徒さんに出演していただき、活気ある演奏を披露していただいた。出演者は小学二年生から80代までと幅広く、お客様にそれぞれの演奏の良さをお楽しみいただいたようだった。

機会があればまた来たい、なかなか聴く機会がないがとても楽しかった、邦楽になじみはなかったが聴きやすかった等アンケートにコメントいただいた。

成果

邦楽の演奏会というと初めての方は敬遠されがちだが、また来たいという方が多く大変嬉しい。今後も、お客様に楽しんでいただけるようプログラムの内容を工夫し、大勢の方に足を運んでいただけるよう努力していきたいと思う。

主催

川越市三曲会 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



アミーゴ秋まつりvol.18 本とクラフトのマルシェ

NPO法人人間市文化創造ネットワーク 人間市文化創造アトリエアミーゴ館庭
令和7年10月12日(日)~13日(月) 10:00~16:00

当日の状況

台風の影響が心配されたが2日間天気に恵まれ、多くの来場者があった。本のマルシェは初めてだったが、開始とともに来場者が集まり古本やオリジナルセレクトの新刊など見ながら店主と交流する様子が見られた。クラフトのワークショップや地域物産品の買い物コーナー、テラスライブを聴く人たちなどそれぞれ秋のひとときを楽しんでいた。

成果

昨今、近隣で「クラフトイベント」が増えてきたこともあり、新たな取り組みでクラフト展のほか「本のマルシェ」も取り入れて実施し、好評を得た。

感想では『地元地域で開催し盛り上げてもらえるのは嬉しい』『毎年楽しみにしている。テラスライブが特に楽しみ』『体験ができたり、ステージを見れたりとても楽しいイベント』などあった。

主催

NPO法人人間市文化創造ネットワーク 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



べに花の郷おけがわ市民芸術文化祭2025

おけがわ市民芸術文化祭実行委員会 桶川市民ホール ホール・プチホール・ギャラリー
令和7年10月16日(木)~26日(日)、12月13日(土)

当日の状況

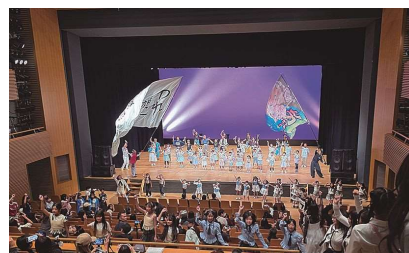
秋晴れの中、ステージ部門は「芸能の広場」「器楽・邦楽の調」「合唱フェスタ2025」を開催。老若男女がハツラツと表現する豊かなステージに客席からも笑顔がこぼれた。参加者の平均年齢は上がり、運営に工夫は必要だが、部門別の委員会を経て、皆で協力し合う機会ともなった。「総合アート展」は100点の出展。どの作品も見ごたえがあると好評。「公募事業」では、地元の音楽愛好家たちに加え地元のプロが出演して賑わった。

成果

各団体が自分の発表だけでなく、互いのステージを支え合う場が多く見られ、同じ日に同じ舞台に立つ意義が一層深まり文化祭全体の魅力も向上。集客は課題だが、新たな客層も確実に取り込んでいる。今後も世代やジャンルを越えたつながりが生まれる場として大切に育てたい。

主催

おけがわ市民芸術文化祭実行委員会 埼玉県
埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第34回旺玄会埼玉支部展

一般社団法人旺玄会埼玉支部 埼玉県立近代美術館 第2展示室
令和7年10月21日(火)～26日(日)

当日の状況

本展覧会において出品作家は14名、出品数は56点であった。

昨年と開催時期を変更したが、期間中は毎日50名を超す入場者数があり、総計521名の入場者があった。県内だけでなく、東京、神奈川、千葉等、関東近県からの来場者も多かった。

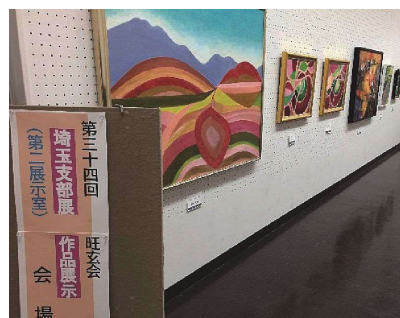
成果

出品作家数及び作品の質が高く、多くの来場者及び評論家の方より賞賛の言葉をいただいた。同時期に開催されていた他の展覧会と比較しても本展覧会の内容は充実していたと自負しており、本展覧会が地域の文化向上の糧となったと思う。

ただし、所属支部員の高齢化を踏まえ、支部員数の拡大が課題となった。

主催

一般社団法人旺玄会埼玉支部 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第46回太平洋埼玉展

太平洋美術会埼玉支部 埼玉県立近代美術館
令和7年10月21日(火)～26日(日) 10:00～17:00(最終日は15:00まで)

当日の状況

本展は今年で46回となる。会員の作品、招待作品、一般応募者の作品計98点を展示した。県外各地から来られる方も多く、6日間の開催で670人が来場した。

成果

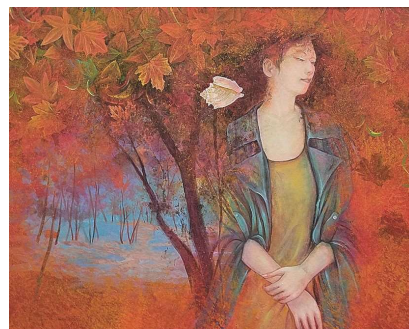
来場者へのアンケートでは、素敵な作品が見られて良かった。様々な種類の絵が見られて良かった。会場が広くゆったりと鑑賞でき、採光もよく展示順路に沿って視線を引き付けられた。風景の絵が多く見ていて心地よかった。子供の絵が出品されていて驚いた。との感想をいただいた。

また、来場者からは、県の芸術文化祭の一環で行われているとは知らなかった。これからも続けてほしいとの要望があった。

太平洋埼玉展は、美術愛好家が絵画鑑賞を楽しみ、また、自ら作品を発表する場として開催してきており、今年度も充実した内容で実施することができた。

主催

太平洋美術会埼玉支部 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第132回秋季短歌大会in秩父

埼玉県歌人会 秩父神社 参集館
令和7年10月25日(土) 13:00~16:00

当日の状況

待ちに待った秩父大会に、128人の出詠者があり大いに盛り上がっていたが、当日は朝から冷たい雨模様で気温も下がり参加者は少なめであった。それでも60人集まったことは、地元の会員各位の御努力のおかげと感謝にたえない。歌会は、選者の十分な選評に一字一句聞き漏らさず会得して帰ろうと、緊張感のただよう、しかも和やかに進んでいった。後半の質疑応答もいつになく活発なやり取りとなり、已むなく時間で切らせていただく嬉しい悲鳴であった。近年はどこの市町村も会場確保が難しくなり、本部周辺での開会となりがちであるが、他の地域で開催することの重要性を確信した次第である。

成果

何よりもお会いしたことのない会員との交流があったことが一番である。県内700人弱の会員すべてに満足のいくことはできないまでも、長年会費を払い続ける会員たちに支えられていることを忘れないでいることが大切と思った。同時に「短歌」に対する啓蒙活動が、芸術文化祭に参加することで、微力ながら出来たことの満足感にひたっている。

主催

埼玉県歌人会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第33回埼玉県三曲協会定期演奏会 箏、三絃、尺八のしらべ

埼玉県三曲協会 埼玉会館 大ホール
令和7年10月26日(日) 11:00~16:00

当日の状況

日本の伝統音楽(三曲)の魅力を観客にお伝えしたく、演奏曲の内容などを工夫した。次世代への継承も大切な目標なので、当会の子供邦楽教室の生徒にも参加してもらった結果、幅広い年代の出演者による演奏会となった。今回もロビーでの箏体験コーナーを設けたところ、多くの体験希望者に実際に楽器にふれてもらうことができ、とても喜んでいただいた。今年も大変賑やかな活動となった。

成果

当日の観客は、年代層も幅広く、県内のみならず他県からの来場者があった。観客から伝統文化を次世代に継承する当会の試みを賞賛するご意見、三曲の音色の奥深さを知った、生演奏はやはり素晴らしい等々の嬉しい感想を多数いただいた。当会としては様々に工夫して、伝統文化を後世に伝えていきたい。

主催

埼玉県三曲協会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



津軽三味線コンサートみんようまつり2025

津軽三味線貢治会 飯能市市民会館大ホール
令和7年10月26日(日) 14:00~15:50

当日の状況

ご高齢のご来場者も多いと予想し、念のため前回同様に看護師も配置した。

ラジオや新聞でも取り上げていただき、おかげさまで雨にもかかわらず立ち見がいらっしゃるほど大盛況、地元のテレビ局も撮影に来ており舞台後インタビューを受けた。

成果

幅広い年代の出演者が、それぞれ目標を定め頑張っていた。ご来場いただいた皆さまよりご満足の声や各音楽関連の専門家の高評価もあり、伝統芸能の普及に貢献できたと思う。次回に向け意気込む出演者たちの姿に、伝統芸能の継承、後進の育成にも貢献できていると感じられた。ご来場いただいたご近所さんに「いいものを観させてくれてありがとう」と感謝され、常日頃お世話になっている地域の皆さまへの恩返し、地域活性になればと思う。アンケートにご協力いただいた皆さまのご意見・ご感想を見ても、大成功だったと言える。反省点は改善し、次回さらに良い舞台になるよう精進する。おかげさまで今回も無事に開催でき安心している。

主催

津軽三味線貢治会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



令和7年度第41回上尾市文化芸術祭

上尾市文化団体連合会 三井金属あげおコミュニティセンター（上尾市コミュニティセンター）令和7年11月1日(土)~3日(月・祝) 9:00~17:00

当日の状況

初日10時から教育長はじめ来賓の方々の祝辞を頂いた開会式の後、茶道協会による茶会を行った。

皆、お茶を頂きながら世間話に弾んだ。展示部門では期間中1階ロビーで美術家協会による絵画等の展示会を行い、2階ではいけばな協会によるいけばなの展示会を行った。展示された力作は観客の眼を喜ばせた。実技部門の囲碁では初日に上尾アマ名人戦・男女ペア戦、2日目はBクラス団体戦、3日目はAクラス団体戦を行った。それぞれの棋戦に熱戦が繰り広げられた。3日にホールで演技部門の邦楽邦舞協会が上尾高校邦楽部を交えて演奏を行った。名演奏に聴衆は静かに聞き入っていた。

成果

一般来客者に加盟5団体の1年間の活動成果を見たり聞いたりして頂いて、日本の古来の伝統文化から改めて感心と感動を与えました。

主催

上尾市文化団体連合会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第23回羽生市文化祭

羽生市文化団体連合会 羽生市民プラザ

令和7年11月8日(土)～9日(日) 9:30～17:00(最終日は16:00まで)

当日の状況

絵画・写真・彫刻等の美術作品及び生け花の展示は、圧倒される作品ばかりで非常に見応えのあるものだった。宮澤章二顕彰会では、羽生市出身の詩人、宮澤章二氏の作品の朗読会・合唱を披露し、作品の魅力を伝えるとともに羽生市が誇る偉人について学ぶ機会の提供に繋がっていた。文化祭2日目はあいにくの雨であったが、将棋大会及び茶会は多くの人で賑わい、特に将棋大会は大盛況であった。

成果

市内で文化活動を行う団体の発表機会の充実だけでなく、市民が身近な場所で文化芸術に触れることのできる鑑賞機会の充実が図られた文化祭であった。今回アンケートを実施したところ、来場者の多くが70代であり、10～20代の若い世代の来場者が非常に少なかったことから、より幅広い世代に見に来てもらうための創意工夫が必要だと感じた。

主催

羽生市文化団体連合会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第9回幸墨会一門展

書道研究幸墨会 羽生市民プラザ 1階イベントホール

令和7年11月15日(土)～16日(日) 10:00～18:00

当日の状況

会員の作品117点を展示。来場者から交通に便利で作品展示に工夫が凝らされ素晴らしいと賞賛された。今年は二日間の開催となり来場出来なかった方々から来年度は三日間にして欲しい要望が出た為、検討することにした。来場者782名の方々を迎え、各作品に関心が集まった。会場内は静かに鑑賞する雰囲気の中、感動、感心、興味を示す人達が其処彼処に溢れていた。

成果

書を通じて会員相互の親睦、信頼、書道技術の向上を目指す展覧会であった。応援して下さる各界の方々の来場、会場関係者の協力を得られ、例年以上の華やいだ展覧会となった。県北地域での精神性の高い書道芸術展の開催に関係者一同自信と誇りが生まれた。来年度に向け更なる努力を続けようとする会員達の強い自覚が現れ多数の来場者、関係者に惜しまれつつも展覧会の幕を下ろした。

主催

書道研究幸墨会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第50回 埼玉県西部地区合唱祭

埼玉県西部地区合唱連盟 坂戸市文化会館ふれあ
令和7年11月24日(月) 11:00~17:00

当日の状況

加盟29全団体参加（女声17団体、男声3団体、混声9団体）。出演者数は525人、一般客数は例年より多く約430人。実行委員会会長大野知事からのメッセージを頂戴し、コロナ禍のため中止していた全体合唱も再開でき、記念すべき50回大会に相応しい合唱祭となった。日頃の練習成果を発表し、合唱の魅力を楽しめた。

成果

一般客に配布したアンケートも昨年同様多く回収でき、年齢は10歳代~70歳以上の全年齢層に渡り、県内の11市町と都内からも来場いただいた。回収数78の内、会場所在の坂戸市の方が27人と最多で「毎年楽しみに聞きに来ている。」「素晴らしい歌声に感動した。」等の感想を多くいただき、地域の芸術文化活動啓蒙に貢献していると実感した。

主催

埼玉県西部地区合唱連盟 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



彩西美術展 '25

彩西美術会 坂戸市文化会館ふれあ
令和7年11月26日(水)~30日(日) 10:00~17:00

当日の状況

県西部において、独創的で個性的な創作活動を展開する作家の作品を一堂に展示し、県西地域における美術理念の向上に資することを目的として、平成19年12月に開催。以来今年で、19回目、県芸術文化祭地域文化事業としては14回目の開催となった。今回も出品者49名、具象から抽象、立体、書と幅広いジャンル64点の展示、製作意図の掲示昨年より出品者が多少減少しましたがゆったりとした展示になりました。

成果

今回の来場者は722名。今回は、各作品と作家の紹介に重点を置きました。「作家本人の言葉を聞きながら作品を見ると、また違った思いで観賞が出来、作品への理解が深まりました」との声を多くいただきました。「雑念、欲などを捨て無我の心で描く力はどの作品にも感じられました」「個性がそれぞれ生き生きと描かれていて驚きました。これからも頑張ってください」など、賞賛と励ましの言葉を頂き、地域の方々、会員同士の交流も図れ、開催した意義がありました。高齢化が進み会場設営、片付け等に課題が残りました。

主催

彩西美術会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第59回全日本書道芸術展

全日本書道芸術院 埼玉県立近代美術館

令和7年12月9日(火)～14日(日)

当日の状況

今展も外国からの日本語学生の生徒さんの来場もあり、又、坂本冬美さんの作品にも注目が集まっていた。墨アート部門ももうけたので親子連れの姿もあった。

成果

今年の大きな特徴は力強いダイナミックな、そして生命力溢れる自由な想像力を発揮する展覧会となり多大な成果を見ました。

主催

全日本書道芸術院 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第17回熊谷ひばりピアノコンクール

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会 熊谷文化創造館さくらめいと太陽のホール

令和7年12月14日(日) 10:00～18:00

当日の状況

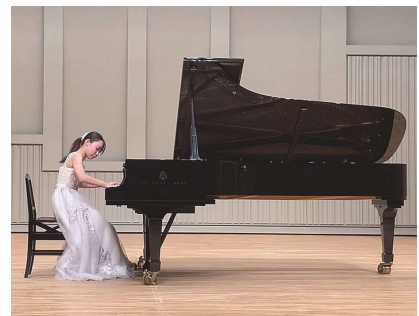
かなり冷え込んだ日で、曇りが降った地域もあるくらいでしたが無事の開催をすることが出来ました。幼児から専門的な部門や趣味の大人の部門の方まで広く参加していただきました。

成果

今年は、12月開催により、寒い中手袋をしてステージ袖で待機する方が印象的でした。こんなに素敵なホールで演奏できるなんて！とおっしゃる方や、きらきら目を輝かせてピアノに向かう方に、大きなステージで、ピアノの最高峰のスタインウェイのフルコンサートピアノで演奏できる貴重な場所の提供ができ、また、参加者の緊張と演奏する喜びにあふれた顔や、達成感を開催者側からも感じる事が出来、大変うれしく思いました。

主催

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会 埼玉県
埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第37回サンシティ市民合唱団定期演奏会

サンシティ市民合唱団 サンシティ越谷市民ホール
令和7年12月14日(日) 14:00~17:00

当日の状況

保育室を設置したところ、比較的多くの利用があった。
観客は約400名であった。

成果

5度目となる一般公募による「第九」のステージでは、ピアノ伴奏ながらも、迫力のある、「第九」の神髄に迫る素晴らしい演奏となった。フォーレの『レクイエム』では、魂の安息を求める深い祈りの音楽となって、会場の皆様に感動と安らぎを与えた。

主催

サンシティ市民合唱団 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第60回記念「郷土を描く児童生徒美術展」

一般社団法人埼玉県校外教育協会 埼玉県立近代美術館
令和7年12月20日(土)~21日(日) 10:00~16:30(最終日は16:00まで)

当日の状況

埼玉県立近代美術館を会場に2日間の日程で開催し、知事賞120作品を展示した。

県内各所から800名を超える方々に御来場いただき、落ち着いた雰囲気の中で作品を鑑賞していただいた。

会場では、家族や親戚で訪れ、子供の作品を見つけて作品と一緒に記念撮影をする姿や作品の前で嬉しそうに談笑している姿が多く見られた。

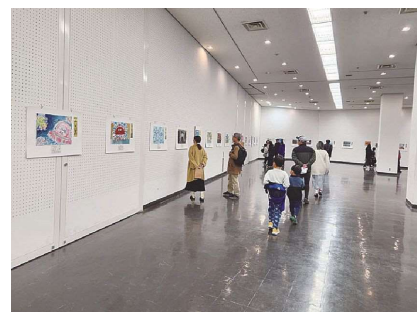
成果

本美術展は、児童生徒が郷土を描き、その作品による展覧会を実施することによって、郷土埼玉に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ることを目的としている。

当日に行ったアンケートでは、「どの作品も個性に溢れていて良かったです。」などの声が寄せられ、本事業が郷土埼玉の魅力を再発見するきっかけとなり、子供たちの健全な育成に貢献することができた。

主催

一般社団法人埼玉県校外教育協会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



第29回稲心書道展

日本書道芸術連盟 所沢市民文化センター「ミューズ」(ザ・スクエア)
令和8年2月11日(水)~14日(土)

当日の状況

2月11日から14日までの4日間にわたって開催し、役員・準役員作品のほか、秀逸以上の作品が陳列された。公開期間中、観覧者は1500人に達した。最終日には表彰式を実施し盛況となった。

成果

新型コロナに代わりインフルエンザが流行している中、大変多くの観覧者が来場し、熱心に丁寧に作品を見ていた。児童生徒部については例年通りハイレベルな作品が多くみられた。

一般作品は会派・書風が様々で、書の多彩な表現や可能性について賞賛の声が多かった。

主催

日本書道芸術連盟 埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第38回舞台芸能発表会

羽生市文化団体連合会 羽生市産業文化ホール 小ホール
令和8年2月15日(日) 9:30~16:00

当日の状況

6団体による15演目が披露され、邦楽・歌謡・民謡・能楽・ダンスなど幅広いジャンルのステージ発表で会場を盛り上げた。

多くの団体が、20分間×3回の演技発表を行い、日頃の練習の成果を存分に発揮した。

また、当日の運営についても各団体がそれぞれの役割を互いに協力しながら担い、大きなトラブルもなく無事に発表会を成功させた。

成果

今回、特別出演をしたダンス同好会は、キッズダンス・小学生よさこい・フラダンスを披露し、出演者・来場者ともに若い世代の人達の参加に繋がった。

また、各実行委員に割り当てられた役割を団体の枠を超えて協力しながら運営にあたることで、団体間の交流と結束力の向上が図られた。

主催

羽生市文化団体連合会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会

